

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成23年度第11回定例会会議記録
開催日時	平成24年2月22日（水曜日） 18時30分から20時30分まで
開催場所	田無公民館 第二学習室
出席者	委員：千葉佳子、畠山昭裕、須磨田純子、馬場真由美、西原みどり、大島眞之、加藤真理、萩原建次郎、新藤浩伸、渡辺文子、幸内悦夫、西嶋剛昭、福島憲子、中曽根聡 職員：相原館長、大平主幹、川口館長補佐、小笠原分館長、長谷部分館長、平井分館長
欠席者	
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第10回定例会の記録について 2. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 行政報告 (2) 公民館だより編集室報告 (3) 都公連委員部会運営委員会報告 3. 事業計画書・報告書について 4. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成24年度 西東京市公民館事業計画（案）につて 5. 事務連絡及び情報交換 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第3回研修会（3月3日）の出欠の確認について
会議資料の名称	<ol style="list-style-type: none"> (1) 平成23年度西東京市公民館運営審議会第11回定例会の開催について（通知） (2) 第10回定例会会議録 1～3ページ (3) 平成23年度公民館主催事業計画書 4～10ページ 1. 子育て中の外国人女性のための日本語講座（初級）（柳沢） 4ページ 2. はじめての環境講座（田無） 5ページ 3. ちいさな展示会（芝久保） 6ページ 4. 初心者のためのFacebook地域活用講座（芝久保） 7ページ 5. 乳幼児を育てている母親のための「子育てコーチング講座」（芝久保） 8ページ 6. ケータイ安全活用入門講座（保谷駅前） 9ページ 7. 親子いろいろ体験講座（保谷駅前） 10ページ (4) 事業報告書 11～17ページ 1. オールジャンルフェスティバル柳沢（柳沢） 11ページ 2. 親子で連だこに挑戦（柳沢） 12ページ 3. 現代社会の子育てビジョン（田無） 13ページ 4. ボタニカルアート講座（田無） 14ページ 5. マクロビオティック講座（芝久保） 15ページ 6. 地域で創る教育ネットワーク講座（芝久保） 16ページ 7. 楽しいチェス教室（芝久保） 17ページ (5) 公民館だより編集室報告（別紙） (6) 平成23年度 都公連委員部会 第3回研修会の開催について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
会議内容	
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第10回定例会の記録について（承認） 2. 報告事項

(1) 行政報告

館長：

1.3月定例市議会で平成24年度予算が審議される。公民館費は387,859千円である。対前年度16.7パーセントの伸びである。伸びについては、まず嘱託員が4名増となる分である。次に施設維持関係で、芝久保のトイレ改修、谷戸の防火シャッター改修、ひばりが丘の空調工事分である。事業費についてはおおむね23年度同様であるが、市民企画事業費は940,000円に増額した。

2.嘱託員の採用試験を2月18日に行った。公民館専門員については23名の受験から5名、保育員については51名の応募から11名を採用した。

3.来年度の障がい者青年学級については、希望者全員の入級が決定した。

委員：

予算について、防災の関連の増額はあるか。

館長：

特にない。必要なものは既定の予算でまかなう。

委員：

職員配置は変わるのか。

館長：

田無・芝久保については職員は1名になる。その代わり専門員を2名ずつ配置する。

(2) 公民館だより編集室報告（別紙、報告書提出）

詳細は添付の報告書のとおり。

委員：

来年度年間の1面記事についてはどのような話し合いをしたのか。

編集担当委員：

1年間の題目のみ予定を立てた。

委員：

市民スタッフによる新コーナーを掲載するスペースはあるのか。

編集担当委員：

「サークル訪問」を隔月掲載とし、そのスペースを充てる。

(3) 都公連委員部会運営委員会報告

1月27日に委員会をもった。3月3日に第3回研修会を開催する。

再来年度、西東京市が会長市となることをにらんで、来年度関わってゆく必要がある。

3. 事業計画書・事業報告書について（『・』は委員質疑・意見、『→』は職員回答）

(1) 事業計画書について

子育て中の外国人女性のための日本語講座（柳沢） 4ページ

- ・地域の人との交流の場となることを望む。春日部市で実績がある。まさにそこを目標に考えている。

- ・30回という長期にわたって開催する意味は何か。

→初学者にじっくりと学んでもらうためである。

はじめての環境講座（田無） 5ページ

・震災後、情報が錯綜し不安が多い状況であり、不安を和らげる効果を期待する。

ちいさな展示会（芝久保） 6ページ

・講習会は単発か連続か。日程を前もって告知してほしい。

→講習会には単発のもの、毎週行うものなどある。ふつうの主催事業と異なり、ロビーを活用してふらっと立ち寄った人に参加してもらえるように考えている。それこそが公民館事業の原点に迫るものと考え。

・いろいろな人の活動が、部屋の中ではなくロビーで可視化されるのはすばらしいこと。

ケータイ安全活用入門講座（保谷駅前） 9ページ

・1回では中途半端にならないか。

→前回の反響と反省をふまえて企画している。

親子いろいろ体験教室（保谷駅前） 10ページ

・実施にインターバルがあるのはどのような意味か。

→季節性に配慮しバリエーション豊かに企画している。

・落ち葉焚きは放射線を気にする人もいるので注意してほしい。

(2) 事業報告書について

オールジャンルフェスティバル柳沢

・来場者の年齢層はどうであったか。

0歳児から90歳くらいまで、幅広かった。

・利用者層の拡大につながることを期待したい。

親子で連だこに挑戦

・障害者青年学級との交流の記述があり、いろいろな人どうしの触れ合いがあったことがうかがわれ、評価できる。

・各報告書にも講師名を記載してほしい。

・柴町に住んでいるが、公民館がない地域である。西武池袋線以北の住民は公民館の利用が少ないと思われる。フェスティバルのような事業で、どの地域の人が来ているか知りたい。

→公共施設適正配置の実行計画の中で把握していきたい事項であり、ご意見をうかがいたい。

4. 協議事項

(1) 平成24年度 西東京市公民館事業計画（案）について

委員：

田無公民館には防災に関連した事業が明記されていないが、実施してほしい。

委員：

防災関連の事業については地域でコミュニティが作れるところまで深めてほしい。

委員：

長期にわたる事業が多いが、かえって参加者が限られないか。いろいろな人が参加できるよう、再来年度からでも、曜日、時間も含めて配慮してほしい。

委員：

この事業計画は公開されるのか。

公民館：

情報公開コーナー、図書館、ホームページで公開する。

委員：

そうであればなおさらだが、公民館として継続して取り組んでいく事業と、新たに取り組む事業とを明確にわかるように記載してほしい。

委員：
積極的なロビー活用について、芝久保のロビーでの講習会のような工夫を各館で取り組んでほしい。

委員：
高齢者対象事業が3つしかないが、高齢者は人材であり、充実を望む。

委員：
柳沢の「キャンプの力」はどのように仕掛けていくつもりか。

公民館：
学校に行っていない当事者からの提案である。講師は招かず職員で取り組んでいく。青少年については、公民館のロビーでも、警備員も含めて対応する中で関係が築かれている。

委員：
子どもたちにとって、家庭、学校に加えて第3の場所が必要であると考えるが、公民館が期せずしてそうした役割を担っていることがうかがえる。

委員：
くるみ学級のスタッフをしていて、「何かをしてあげる」のではなく、「ともに楽しむ」活動なのだと言った。みんなが持ち味を活かせる学級であり続けることを望む。

委員：
スタッフの数が不安定であり、充実を考える必要がある。

委員：
個別具体的な課題も大切だが、抽象的で大きなテーマ、芝久保が続けているような平和を考える講座のような事業には、各館でも取り組んでほしい。

(2) 利用者懇談会の充実に向けて

委員：
柳沢、ひばりが丘は懇談会と団体連絡箱の調整会を別にしているが、意図は。

柳沢：
懇談会ではグループ討議も予定し、じっくりと話をしたいからである。

ひばりが丘：
同じ趣旨である。

委員：各館の利用者懇談会に向けた工夫などを聞きたい。

柳沢：
少人数のグループで、公運審委員、職員も入って、テーマをもうけて話し合う。

保谷駅前：
周知を進めているところであり、双方向性を心がけていきたい。

芝久保：

初めて午後に開催することで、参加しやすくなるのでは、と考えている。従前より懇談会の中で地域の話ができています。

ひばりが丘：

地域のみなさんにも来ていただけるよう、周知していく。多様な方に来ていただいて、地域の話題についても取り上げていきたい。

谷戸：

防災に焦点を当てて、地域を見直す会にしたい。備蓄庫がどこにあるか、など投げかけていきたい。

委員：

柳沢で前回行ったような、互いのサークルの活動も自己紹介し、後半はグループ討議という流れはよい。

委員：

委員はできるだけ出席するようにしたい。

5. 事務連絡及び情報交換

委員：

公共施設適正配置の実行計画が3月に示されるのではないかと。だとすれば利用者懇談会もその話題になるのではないかと。

館長：

受益者負担については公民館だけの問題ではない。よって、所管は企画課である。

24年度は利用実績などの分析を行う。公民館内部でPTを立ち上げて検討する。利用者懇談会では、適正配置のことに終始するのでは趣旨とずれる。適正配置については別途市民説明会などを開催していく。

職員：

都公連委員部会研修の出欠を早めに連絡いただきたい。

委員：

萩原、新藤、西嶋、幸内、西原各委員は欠席。

次回の日程について

第11回定例会 3月28日（水曜日） 18時30分 於：田無公民館 第二学習室